

The Weekly Journal of Tokyo Rinkai Rotary Club



クラブ会長ターゲット
「職業を通じて広げる絆」
"Expanding Relations
Through Business"
2018-2019年度
東京臨海ロータリークラブ会長
本多 信雄



国際ロータリーテーマ 2018年11月28日【第1120回】
「インスピレーションになろう」
"BE THE INSPIRATION"
2018-2019年度
国際ロータリー会長
バリー・ラシン
創 立 : 1994年8月8日
会 長 : 本 多 信 雄
副 会 長 : 佐 藤 正 樹
幹 事 : 佐 藤 大 輔
会報委員長 : 井 上 晴 貴

11月28日の卓話	11月21日の出席率	12月5日の卓話
「ロータリー財団 卓話」 国際ロータリー第2580地区 ロータリー財団補助金委員長 東京セントラルパーク RC 会長 松林 茂様	会員在籍者数 38名 会員出席者数 21名 会員欠席者数 17名 本日の出席率 60.00% 前々回訂正出席率 83.78%	「運送業について」 みのり運輸(株) 代表取締役社長 坂本康朋様 (当クラブ会員)

《第1119回例会報告 2018年11月21日》

司会：入澤会員

- 点鐘：本多会長
- ロータリーソング斉唱「それでこそロータリー」
：ソングリーダー 勝間田会員
- 「四つのテスト」斉唱（歌）
- 「ロータリーの目的」
東京臨海 RC Ver. 唱和：佐藤正樹副会長
- 来賓紹介：本多会長
本日は、いらっしやいません。
- ビジター紹介：西野会員
市川 充様（東京江戸川 RC）

- ・子クラブ東京臨海東 RC 忘年家族会が12月4日（火）東武ホテルレバント東京にて開催されます。出席希望の方は、本日例会終了までにお申込お願い致します。また、登録料も本日中にお願ひ致します。
- ・バギオだより11月号を会員皆様のメールボックスに配布致しました。
- ・地区大会は、来年2月20日・21日ホテルニューオータニで開催されます。会員皆様にご案内を送付しておりますので、登録内容をお知らせ下さい。
- ・11月の定例理事役員会報告は、11月12日に会員皆様へメール送信致しました。



- 会長報告：本多会長
 - ・本日は、社会奉仕部門フォーラムを開催致しますので、例会を1時に終了させて頂きます。
 - ・高橋映治会員に結婚祝いを贈呈致します。
 - ・11月7日の松坂順一ガバナー公式訪問日は、例会前のクラブ協議会から大勢の会員皆様にお集まり頂きありがとうございました。ご協力に感謝致します。松坂ガバナーからお礼状を頂きました。
 - ・年次総会を12月19日（水）例会後、1:35~1:50に例会場にて開催致します。会員皆様の出席をお願い致します。
- 幹事報告：佐藤大輔幹事



- 委員会報告
 - ・クラブ基金（鈴木委員）
特定クラブ基金を寄付頂いた、クラブ基金功労者・準功労者・寄付者の皆様へ感謝状・お礼状を本多会長より贈呈致します。
 - ◇第10回・11回・12回・13回クラブ基金功労者感謝状：鈴木孝行会員
 - ◇第3回・4回・5回クラブ基金功労者感謝状：栗山義広会員
 - ◇第2回・3回クラブ基金功労者感謝状：斉藤実会員
 - ◇第1回クラブ基金功労者感謝状：本多信雄会長、酒井教吉会員

◇クラブ基金準功労者お礼状

: 佐藤大輔幹事

◇特定クラブ基金寄付者お礼状

: 佐藤正樹副会長、高橋映治会員、飯塚憲貴会員、西野充英会員、須藤宗之助会員、舛本俊輔会員、村社研太郎会員



- ・親睦委員会（司会者より代読）
新入会員大歓迎会を12月10日（月）18:30より千代田にて開催致します。出欠の連絡を本日までにお願ひします。
- ・社会奉仕委員会（高橋委員長）
 - ①本日例会後1時より社会奉仕部門フォーラムを例会場にて開催致します。
 - ②東京臨海 RC 旗争奪江戸川区学童オレンジボール大会は、順調に進んでいるとの連絡を頂きました。決勝戦は、11月23日（祝・金）14:00開始予定。表彰式は、15:30からの予定とのことです。
場所：水辺のスポーツガーデン内少年野球場
- ・飯塚ゴルフ幹事
11月14日に開催された地区懇親ゴルフ決勝大会では、当クラブは準優勝致しました。



- 出席状況報告：坂本康朋会員
⇒詳細1頁バナー下に掲載。
- ニコニコBOX報告：佐藤輝彦会員
(ご意向)本日はお世話になります。:市川充様（東京江戸川RC）
(ご意向)本日、社会奉仕フォーラム、宜しくお願ひ致します。:本多会長、佐藤正樹副会長、佐藤大輔幹事、

高橋会員、井上会員、佐藤輝彦会員、須藤会員、西野会員、入澤会員、坂本康朋会員、田村会員、栗山会員、小松会員、勝間田会員、山田会員、飯塚会員、篠塚慎之介会員、尾身会員

【19件 47,000円 累計885,241円】

■卓話 本日、卓話はありません。1時より社会奉仕部門フォーラムを開催致します。

■点鐘：本多会長



＜＜社会奉仕部門フォーラム＞＞

社会奉仕委員長 高橋映治

本多会長：オレンジボール大会に参加してください。社会奉仕は寄付だけではなく、参加をしてみてください。現場に行くと体に触れることにより感動します。子供の成長に親御さんも感動していました。様々な親睦の輪が広がります。体験することから始めてください。

佐藤大輔幹事：NPO 法人らいおんは一と評議員もやっております。らいおんは一とがどういったところか、どういういきさつで臨海 RC が奉仕活動をしていくこととなったかご理解いただいています。毎日江戸川区の子供たちにご飯を食べさせていきたいと思っています。まずはらいおんは一とからと初めて、拠点をゆくゆくは増やしていきたい。通学路に展開をしていきたいです。やってみて分かったことは、ご飯食べられるからおいでよと言っても、子供は来ない。子供も子ども食堂のことはわかっている、子ども食堂に来る子供も、他の家庭と違ってということもわかっています。子供同士のコミュニティの中でも難しいです。親世代も自分だったら行きにくいとわかった。食べられることが出来る子供たちにも来てほしいと思っています。口コミでも広がらない。届けたいところに届かない。なので学習支援に力を入れたい。放課後の教育として、宿題いいよ。教えてあげるよ。こういう先生来るからおいで。などと宣伝している。また現役の高校生がボランティアで教育に来てくれる。子供たちの来れる環境づくりを考えています。子供たちの貧困や虐待に対しても手を差し伸べていきたいですが、スピード感にかけています。保護者も子ども食堂を使用していると、自分に非がありそうで通わせないなども難しい問題としてある。平均して10名は毎日子供たちが来てくれています。ゆっくりではありますが、活動しております。

高橋社会奉仕委員長：本日は答えを出す会とします。テーマは2つ。今までは社会奉仕委員長が何やったらよいか分からなく一年が終わっていた。最近は継続事

業を行っています。地区補助金が申請でもらえるのですが、申請のタイミングが7月なので、新年度すぐに引き継いで事業を行うことが不可能。なので前年度から計画して引き継ぐ必要がある。今の副委員長が次の委員長になる。または二年連続で委員長を行うなどしないと難しい。継続事業が多く、新しい社会奉仕活動が出来ない問題がある。ロータリーの目的がありますが、1つ目はクラブ奉仕を簡潔にまとめたものとなります。2つ目は職業奉仕を簡潔にまとめたもの。3つ目は社会奉仕を簡潔にまとめたもの。4つ目は国際奉仕を簡潔にまとめたものとなっている。青少年奉仕はこれらを実行する事。一人一人が関わっていくことが社会奉仕となります。社会奉仕では重要な決議というものがあります。決議 92-286 (1992年国際大会 286番目の決議) の10項目の最後。「適切であれば地元地域社会、奉仕団体、その他諸団体に継続中のプロジェクトを委譲する事」とある。ロータリーは新プロジェクトを立ち上げることが目的で、それを地域に根差して初めて地域が発展していく。立ち上げること、地域のニーズを探して問題化していくこと。手を差し伸べて、様々な団体へ委譲していく。RCも団体を作ることがある＝ロータリー地域共同体という。ロータリークラブとして、委譲して離れなければならない。継続事業は簡単だが、いつかは止め時を考えていかなければならない。奉仕団体を決めたら、バトンタッチしてください。ずっと続けていくものではない。ロータリーは単年度制です。臨海としてどうしていくかを話し合しましょう。補助金の申請の仕組みづくりとどのように継続事業をしていくのか。



発表第1グループ：佐藤正樹副会長

地区補助金は単年度制。企画から補助金がもらえるまでに2年少しかかります。足掛け3年かかるということです。毎年事業を考えていく必要がある。地区も予算が多く余っているので申請を待っている。まずは、現状の委員長と副委員長で回すのであれば、しっかりと引き継いで回していくことが必要。またはクラブ内で各それぞれのスペシャリストを育成すべく、小委員会制度も考えました。パスト会長の経験を生かして、スペシャリストのリーダーとなって、後継者を育成していく。継続事業に関しては、いかに多団体に継続前提で引き継いでいくか。そのような時期にも来ている。しっかりと引き継ぐ日を決めて運営していく。毎年何が出来るかを考えて運営していく。例えば、オレンジボール大会では参加賞を差し上げるのはどうか。ノートや鉛筆に臨海ロータリーと入れる。子ども食堂でしたら例会を開催する。例会費も捻出できるし、お中元お歳暮の寄付など、

様々何が出来かを考えていく必要がある。

発表第2グループ：舩本会員

継続事業は、バギオ基金、オレンジボール大会、子ども食堂とあります。地区補助金の申請には具体案が必要。臨海東は毎年補助金を使っている。子ども食堂の学習支援はどうか。勉強が好きじゃない子供もいる。プロジェクターで大画面ゲームが出来る。積極的に現場に関わっていくことが重要。

発表第3グループ：西野会員

副委員長が次年度事業の流れを作っていくことが重要。ロータリーに入っているから奉仕をやっていることではなくて、自分が世の中に必要だ、何が出来るのかという考えでロータリーを持ち込んでいくことが大切。地域にとって何が必要なのかという問題意識を深堀していくことが大切。単年度制のいいところは、権力、しがらみが発生しない。しかしやってあげた感がでる。井戸を作ることは、やってあげた感が出る。オレンジボール大会は、実際の場所で感動が出来る。対象が変わる。実際には継続事業だが、対象者が変わるところがよい。いずれ継承するためには、スムーズに事業を運営して移行する。移行した先まで考えて運営できれば良い。語り継げる歴史を作っていくことが大事。それを社会奉仕で行っていくことが大切。



東京臨海ロータリークラブ 家庭集会

テーマ「東京臨海ロータリークラブの増強と活性化」

<会長テーマ>

- ① 幹事はどのように選びましたか？
- ② 理事・委員長はどのように選びましたか？

<会員テーマ>

- ① ロータリークラブに誘われたのはどういう理由でしたか？
- ② 入会の動機は？
- ③ ロータリークラブに入会して、良かったこと、悪かったことは？
- ④ ロータリークラブに入会して、変わったことは？
- ⑤ ロータリークラブに入会させたい人はいますか？
- ⑥ 「四つのテスト」はどう思いましたか？

第2グループ：入澤リーダー・井上サブリーダー**11月13日 火曜日 18:30~21:00 銀扇**

舛本会員：風呂敷を広げる。舛本君のような商売をしているんだったら、上場。拡大。全国展開をしていると言った方がいいのではないかとアドバイスをいただいた。やりたいことがあったら、発言しても良いんだ！ということをお教えた。それなので、様々発言をしたら、優秀な人材と巡り合った。業績も上がり、思いを段々と伝えていくうちに、上場や全国展開したいなという思いが出てきた。大阪に新年度店舗展開、次年度は福岡に支店を出します。全国8都市での展開をいたします。言っていくうちに自分で自分を洗脳していく。夢が膨らんでいく。杉浦会員にロータリーの入会を勧められた。ロータリーに入れば業績があがるよ！その言葉の意味が分かりませんでした。風が吹けば桶屋が儲かるではないが、プロセスが分からなかった。栗山パスト会長の助言により、今後の自分の会社の展開が変わりました。

勝間田会員：尾身会員のプッシュによって入会いたしました。母方の祖父がライオンズクラブであったので、ロータリーには興味があった。お金で振り回されないようになりたい思いがあった。ロータリーで様々学習していきたい。

井上会員：会社の価値を上げようと頑張っています。無保証にもなり良かったと思います。ロータリーに入って、よく考えるようになりました。

坂本康朋会員：皆様と勉強しながら頑張っています。会員増強も頑張っていきます。新規入会もエスコートできればと思っております。

篠塚仁会員：目の前に明確な目標がある人が大勢いるロータリークラブは為になる。失敗してもプラスに考えられるようになりました。

酒井会員：会社が11年目です。2013年目から経常が倍々となり、会社が成長しております。成功者の真似がしたい。それで頑張れました。ロータリークラブでの役割は国際奉仕一本でやってきましたが、頑張っていきます。会員増強も考えていきます。臨海ロータリークラブでの主役になれるよう頑張っていきます。

佐久間裕章会員：29歳時に商工会議所の忘年会で入会のお誘いがありました。目標となる方が目の前に一杯いて、超えたい人がいます。青年会議所の委員長を来年いたします。職業奉仕を考えていきたいと思っております。

榎本会員：新聞屋さんは25年やると年金がもらえる。あと2年間は頑張ります。運送の事業も軌道に乗ってきており、良かったと思います。杉浦さんがお見舞いに来ていただきました。

栗山会員：2年前ジョナサンで会長を決めるときに本多会長と話し合った。鈴木会員の勧めもあってロータリーは付き合えない人と付き合えるようになったり、奉仕の機会を作る。ということをお大切にしていきたい。会員増強などもそうです。5年後10年後新クラブをどうしていこうかなど考えます。会社と同

じです。ロータリーをやって行く上で熱意は大事です。頑張っていきます。

佐藤大輔幹事：お手本になる人が多くいます。ロータリーに入っていなかったのならどうなっていたんだろうと考えます。父からは技術を学びました。ロータリーからは経営などを学んでおります。臨海西が出来ることによって、臨海も活性化できるはず。入会候補は次回ご紹介いたします。

(写真：税務署長賞受賞のお祝い)



佐藤正樹副会長：江戸川北法人会青年部に入会しておりました。本多会長と高橋パスト会長がいらっしゃいました。この方に近付きたい思いで、自分からロータリークラブへのアプローチをいたしました。悪かったことはありません。良かったことだらけです。皆さまのお陰で成長させていただいております。人の話を聞くようになり、熱意が出てきたら社業も上がりました。入会させたい方もおります。

本多会長：組閣を決めようと様々話し合いました。今会長をやっていますが、若手の見本となるようになっていきたいです。26歳で独立しました。江戸川北法人会青年部で頑張っていた時に、江戸川区では北と南があり、南は裕福が多く、北はそうでもないと言われていた時があった。180社の会員数があったが、いつかトップを張ってやろうと思った。それを5年で到達して、奢ることなく次のチャレンジで鈴木会員よりロータリーへ入会しました。会社の規模よりも、従業員のもらっている給与がいくらかの時代が来ると思っています。ロータリーは栗山会員みたいに、私のライバルもいます。社業を発展させ、体験型社会貢献をし、寄付だけではないようにする。奉仕活動を理解して活動をするのが大事です。

山田会員：魅力ある世代が沢山います。臨海には魅力が詰まっています。私が臨海を辞めるうわさが立った時がありました。悔しかったですが、栗山さんが当時話を聞いてくれました。様々な人に助けられ、今感謝しています。

鈴木会員：自分に威張れる自分になる。ISO世界標準規格＝ロータリーも標準を満たしている人しか入れない。標準以上であるという確約である。60歳過ぎても友人と呼べる人を作りたい。それをロータリークラブで作りたいです。人を紹介できるクラブ、人を紹介することによって、自分の意識も高まる。いいことも悪いこともあります。自分の友人をクラ

ブに入れて、辞めることがないようにしていくことも大切。ロータリアンでしかできない事、後に残ること、様々考えると拡大にいきつく。臨海ロータリーのことですが、年齢層が分かれていますねと言われたことがあったが、臨海ロータリーほどバランスの良いクラブはないと思う。各年代が揃っているからです。様々なクラブがありますが、臨海ロータリーは魅力があるから人が入ってくる。そして25周年で臨海西をつくる。今がタイミングでした。

事実を見て人を攻めることなく、真実を見て欲しい。例え敵であっても正しいことは正しい。



第1グループ：高橋リーダー・杉浦サブリーダー
11月19日 月曜日 18:30~21:00 千原庵

高橋会員：家庭集会とは炉辺会合とも呼ばれていた。ご自分の家などに招いて行うミーティングであった。アメリカ発祥なので日本ではなかなかできないので、居酒屋などで行うこととなった。〈まえおき〉

栗山会員：臨海西に対して、会長を経験していて良かった。新クラブ設立は大変で何もかもわからないことだらけであるが、会長経験が役立っている。人口1万人に1クラブがあればよいといわれている。〈まえおき〉

井上会員：佐藤輝彦会員の紹介で入会。様々な良い先生と出会い良かった。人生皆我師。まじめになった。松坂ガバナーのお話に、四つのテストの言い換えたバージョンが勉強になった。〈前週報参照〉

地引会員：高橋会員と本多会長に誘われました。良かったことだけです。若手も最初は少なく、現在は若手が多くて刺激になります。まじめになりました。入会させたい人がなかなか周りにはいません。

杉浦会員：臨海東にいた佐々木綾さんに誘われて入会しました。第一印象は絶対に入らないと思いました。失礼ですが宗教か何かと思いました。敷居は高く、歌を歌ったり、見慣れない光景でしたが、鈴木会員と飲みに行く機会をいただいたときに入会を決めました。よかったです。様々な幅広い人材や年齢層。その方たちと活動が出来る機会はなかなかなかった。悪かったことはお酒の量が増えました。怒っていただけでも人生経験で良かったです。まじめになりました。入会させたい人はいますが、地域性もありなかなかつながりません。声はかけ続けていきます。四つのテストに関して、素晴らしいと思います。クラブの増強を考え、活性化も考え、まずは例会に

出席しないと活性化ありません。クラブが楽しいんだよということ共有して発信していきたい。ガバナー公式訪問の出席率は楽しいものでした。様々な話も出来て良かった。あれが続けばよいと思います。

佐藤正樹副会長：江戸川北法人会で佐藤大輔会員と一緒にさせて頂いています。本多会長や高橋会員は有名人で、二人にロータリーに入れさせてくださいと、こちらから声を掛けました。良かったことしかありません。生きる考え方を教えていただきました。会社も含めて今があるのは、ロータリーのお陰です。また若手の方からも刺激をいただいています。恩返しも皆様にしていきたいです。増強も3年後までには50人を達成したいです。ロータリーという大きな大義があるのですが、なかなか来ない方もいます。来ない方にも親睦を通してアピールしていきたいです。

佐藤輝彦会員：佐々木綾さんに出会って、ロータリーに入れていただきました。人生を見つめなおしています。経営と向き合い、前年比から204%達成しています。ここをきっかけに頑張っていきます。経営計画書を作成したりと、正樹さんの真似をしています。様々なところに気づけたところが良かったです。まじめになりました。自分がどうしていきたいかを引き続き考えていきたいです。自分の姿勢を正してから、業績を伸ばし、堂々と誘っていきたくと思っています。四つのテストはいつも頭の中にあります。四つのテストの訳し方の違い、捉え方の違いは学びました。例会に参加して出席率を出したいです。

栗山会員：会長をやったこと。若手にむけて、手伝うことではなく、この会は自分たちが運営していく。自分たちが運営していくという自覚がないから、出席もしないし、手伝うという言葉が出る。言いたくないけど、教えていかなければいけない立場ですのでいいです。皆、まじめになったと言っていました。これから入ってくる人に熱意をもって話せば、絶対に入会してくれると思う。一緒に仲間づくりをするのがロータリー。ロータリーと仕事は両輪です。ロータリーの運営は会社の運営と同じ。一人一人を尊重し、参画意識を持ってもらい、意識を奮い立たせないといけないし、皆も頑張ってもらいたいし、自覚してほしい。臨海、臨海東、臨海西を盛り上げていきたいと思えます。気づいたことはご指導ください。

佐藤大輔幹事：江戸川北法人会青年部にいました。高橋会員と本多会員に誘われて入会しました。一年浪人して大学を卒業し、就職氷河期にて自分の会社に入りました。88年親子三代でやっている印刷工場です。職人としては父から技術を学びましたが、経営は学んでいませんでした。年上の大人とかかわりを得て、様々学びました。ロータリーに入ったのが、38歳でした。青年部を卒業したら大人と付き合いがないといけないよと、高橋会員から助言をいただきました。ロータリーに入ってよかったです。お手本になる方が多いです。年上の方も年下の方も、自分自

身が変わっていきました。まじめでした。新入会候補もいるので、これだけ変われます、お手本もいっぱいいますと伝えていきたいです。増強活性化をする。活性化しているなという目安は辞める人がいない、新しい人が入ってくるということだと思ふ。誰も入ってこない、辞めてしまうではいけない。クラブそのものが楽しまなければいけない。いろんな世代もいる中で、ある特定の人達だけが楽しいと感じるのではなく、バランスよく介入していく必要がある。幹事として視野を広く、全体管理をしてかなければならない。

須藤会員：花屋をしています、昔、花を注文したい



という人が来ました。初代会長でした。注文書の名前の漢字と手紙の漢字が間違っていた。その為、名札の漢字を間違えた。そして勘定はもらえなかった。その後初代会長が、ロータリークラブに入らなかと尋ねてきました。この話に全員反対だったが、その時に従業員になぜ確かめなかったのか？と問うた。結論うちが悪いんだよと。そしてロータリークラブへ入会しました。悪いことは逮捕者ができました。良かったことは、若い会員が沢山います。若い息吹がよい。78歳の平均年齢のクラブがありますが、うちは凄いことです。いつも夢を見て生きていきたいと思ふ。若さは武器なので、大事にして生きていってください。われらの生業はふるさとの作曲家と同じです。

大澤会員：ロータリーに出席するようになったのは森山年度でした。幹事経験がありません。会長と副会長の経験しかありません。ロータリーの良さは、様々な業種の方がいて、地域でそれぞれ活躍されている人の集まりである。それは非常に財産です。ロータリーとは自分が何をやるか、主体性をもってやるのが大切です。主体的にやるから勉強になる。だからプラスになる。

高橋会員：本日国立博物館を貸し切って結婚式の写真撮影をいたしました。幹事は頼みやすい人を選びました。ベテランとそうでない人の調和を保つように頑張りました。ライオンズクラブにずっと誘われていたのですが、鈴木さんと飲み屋で知り合い、入会しました。地方ではロータリークラブには入れない

ので、入会を決意しました。良かったことは知り合いが沢山出来ました。悪かったことは夜の出が多くなったことです。人格者的な存在として扱われていることが成長したところでした。様々な団体に参加して調整しています。「東京臨海ロータリークラブ」では下記の「四つのテスト」を独自に解釈したオリジナル版を唱和していました。

「四つのテスト」 言行はこれに照らしてから

- 1 真実かどうか → 良心に反しませんか？
- 2 みんなに公平か → 嫌がる人はいませんか？
- 3 好意と友情を深めるか → 友情を積み上げることに役立ちますか？
- 4 みんなのためになるかどうか → メンバー全員の利益になりますか？

本多会長：オレンジボール大会の二次会で組閣を決めました。会が維持できるのが大切なので、様々考えました。高橋会員に誘われて入会しました。江戸川北法人会青年部時代の高橋会員が異色でした。会社の売上が3~4憶くらいだった時、取引先が廃業することとなり、仕入れ先が大手会社が変わった。大手と付き合いのときに、決算書を三期分出してくれと言われて提出したが、取引が難しいと通知が来た。高橋会員に相談したら90万でつぶれる会社と書いてあるよと助言を受けた。現金はいっぱい持っているのに、前期の会社の利益が90万であった。つねに借金をしない。キャッシュをいっぱい持っている。をテーマに経営してきた。大手から言われた言葉がショックだった。この異色の高橋会員から勧められた商工会議所、同友会、ロータリーなどに入会した。少々稼ぐようになってくると、人間天狗になってくる。それを正してくれるのがロータリーです。臨海は成長させてくれるクラブです。いい刺激をもらえます。

鈴木会員：海外も何回も行っていましたが、ロータリーを知っていました。ロータリーは当時は入れるクラブではなかった。良かったことは、このクラブであつたら友人が作れるのかなと思ふ。ISOではないけど、ロータリーににいるということは国際規格を満たしているということです。一定のレベルを満たした人の集まりです。入会などは、この人を入れたら何人ついてくる。そういうことを考えて入会させてきました。今まで会社というのは社長しか見てきていない。ロータリークラブに入ることによって、いろんな方々と会う。いろんなところに出る機会がある。より成長につながる。それは全部会社に返ってくる。それぞれも伸びていく。偉くなりたいという気持ちを大事にする。ロータリーを大事にするという気持ちを大事にする。他人に迷惑をかけないように気を付けてきた。みんなの為になるかどうか。私利私欲を考えないことが良かった。

笹本会員：青年会議所を卒業したタイミングで、齊藤会員から誘われました。地引さんと一緒に歓迎でした。叔父二人もロータリーでお世話になっていました。業種が全部別れているロータリークラブ。安心して付き合える人々に出会った。悪かったことは事

務所にいないことが増えたということです。入会しなかったらどうかと考えると、最近様々なところに出歩き、知り合うことが増えた。入っていなかったら向上心もなく、そのまま終わっていたかもしれない。仕事を辞めて他の仕事をしていたかもしれない。継ぎ手がないということも考えてしっかりと運営しています。紹介も出来るよう検討しています。四つのテストの完璧はないと思っています。どれかが弱いのではないかと思う。公平か真実かを重要としています。来年再来年とロータリーを頑張っていきます。

第3グループ：田村リーダー・篠塚慎之介サブリーダー

11月21日 水曜日 18:30~21:00 彦衛門

栗山会員：この会でロータリー情報をするのは最後となりますくまえおき>

西野会員：栗山会員にご紹介いただきました。埼玉のロータリークラブに誘われていたのですが、栗山会員が会長になるということで、臨海に入会させていただきました。残念ながら臨海西に行くことになりましたが、皆さまと出会えたことは大切です。良かったことはおいしい料理にありつけること、悪かったことは、予想外にゴルフが多い。お客様として接する経営者ではなく、ロータリーでの関係では勉強になることばかりです。入会させたい人も中にはいますので、仲間づくりに頑張りたいです。四つのテストは普段から立ち止まり、毎週言うことに意味がある。人に接する原則ではないかと思っています。

村社会員：ライオンズクラブに入っていたのですが、臨海の諸先輩方は存じ上げていました。外部を通じてのお付き合いがあったので、ロータリークラブに入らなくてもと思っていました。ライオンズを辞めて5年開けました。そして臨海に入会させていただきました。良かったことは様々教えていただけることです。お仕事もお世話になっています。民生委員、町会の役員、PTA 会長と様々やっているのですが、役職をいただいて変わったこともあります。入会させたい人はライオンズクラブに誘ってしまいましたので、今後検討していきたいと思っています。入会させると自分の活動も変わりますので頑張ります。

大西会員：父が臨海に入会していたので、父が国政に忙しかったので、交代して入会いたしました。良かったことはロータリーでご活躍されている方も大勢いらっしゃいました。施策にも貢献していくことが大切だと思っています。宅配の問題がありますが、街中に宅配ボックスが沢山あれば、再配達問題も解決できるかもしれないと動いています。出席率ではご迷惑をかけておりますが、様々頑張っています。臨海では様々な活動をしています。オレンジボール大会ですが、メダルをもらったお母様とお話したら、大切に持っていますと喜ばれていました。励みになり、都大会でも優勝したということがありました。支援が一つ一つ繋がっているのだと、子供たちの大きな力に変わっていることを大切に思っています。初めて起業するチャレンジオフィス制度

というのがあります。施設の家賃が半額や、コピー機などを整備して 2017 年スタートの江戸川区事業ですが、ここの経営者たちが出てきつつあるので、お誘いできることがあれば今後機会を作りたいと思っています。

篠塚慎之介会員：杉浦会員に紹介していただきました。私が社会人になったときの上司でした。13年不動産業界で営業をしていたのですが、地主から土地を買い取り、次の人に売るという仕事をしていました。家を売るだけでしたので、地主さんなどの気持ちが分かっていなかった。顧客優先で営業をしていくこととなった。不動産業界にある袖の下は絶対にしないということを守っていきました。業界を変えていきたいと思っていましたが、なかなか難しい業界でした。私のお客様であったソニー生命の先輩とお話したことがきっかけで、ソニー生命が業界を変えたという会社であった。私の気持ちに添っていた。子供たちの社会を良くしたいと思ったので、ソニー生命に入社いたしました。ロータリーで良かったことは、良かったことばかりで、普段経験出来ないことばかりです。悪かったことは、いまだに妻の理解が乏しいということです。変わったことは、物事を見る視点が変わりました。様々な方がいて、視野が広がりました。入会させたい人はいるのですが、遠いので相談していければと思います。四つのテストは激しく同意いたします。こうやって人生を歩んでいくのだなと思いました。ソニー生命も同じです。頑張ります。

井上会員：佐藤輝彦会員に誘われたことです。福祉の道に行っているのですが、ロータリーは向いているのではないかと言われました。ロータリーに入会したことは、ステータスに憧れたこともあり、入会させていただきました。良かったことはよく考えるようになりました。ワークライフバランス大賞なども、ロータリーに参加してから受賞しました。四つのテストは、こんな簡単な言葉、誰にでも通じる言葉で伝える。言葉の強さを感じました。



小松会員：佐藤正樹副会長より推薦いただき入会いたしました。二年越しでした。佐藤正樹副会長のオーラがすごくて、より成長したいと思いました。この職業に転職したきっかけも、スカウトしてくれた人がかっこよくて、そういう人になりたかった。見た目とかでなく、考え方も勉強になりました。良かった

たことは、経営者というよりは、半個人事業主という感じなのですが、経営者としてどんな興味があるのか、どのような立ち振る舞いをするのが勉強になりました。背伸びをして頑張らないとロータリーは出来ないよと言われ、頑張っていきたいです。考えや目線が変わりました。入会してから体重が増加中です。友人仲間がいますが、プレーヤーでもあるのでなかなか入会までは難しいです。

飯塚会員：2013年までは人脈がなかった。法人会も行ったが蚊帳の外だった。同友会に入会した時、栗山会員や本多会員がいた。温かく親身になって話を聞いてくれた。同友会に入って、1年後に起業しました。佐々木彩さんに誘われて、臨海に入会いたしました。ロータリーに入ったときに、もっと上のステージに行けるのかなと思いました。バギオや台湾も感動しました。家族もロータリークラブに入ってから良くなりました。子供もバギオに連れていき、反抗期もなく育ちました。また妻が外に出て人脈を広げてきなさいと言う方針だったので、良かったです。経営者としての自覚も出てきました。臨海西に行きますが、頑張ります。週報やったときに、やったからには一生懸命にやってみよう。週報を見てロータリーを知ってもらおうと思った。他クラブからも「あなたが飯塚さんですか」と言われることもあった。地区の青少年交換などで、週報のお陰で言葉が分かり、会話が出来るようになった。会員増強は友人などを紹介できればと思っています。四つのテストは皆が平等で、主体性をもって活動していくのにいい言葉だと思います。このテストは様々な会でも活用しています。

佐久間栄一会員：ロータリーが進化してきたと感じた。25年ほどロータリーやっていますが、当時とはまるで違う。若いパワーを体で感じています。この良さが他クラブまでかなりの影響力があつて変えていくのではないかと考えています。だから失敗はしてほしくない。臨海、臨海東、臨海西と頑張っていってほしい。他クラブは高齢化している、これからのロータリーの形を作っていってもらったら最高だと思う。栗山会長のロータリーの姿勢が大変良かったから、後輩も育っていい雰囲気成長してきている。皆の言葉が新鮮で仕方がない。

田村会員：大勢集まっていただけなのはよいです。例会もたくさん集まってほしいです。水曜日のお昼の仕事を中心に持っていくような時間割を作ることも参加方法の一つです。ロータリーは同友会時に鈴木さんに誘われました。役をもらうと人は変わる。会長も変わったし、いいことだなと思っています。見習うべき人が多い。大人になってから友人もなかなか壁があってできない事だと思う。酒井さんご紹介させていただき、世界大会も参加しています。佐久間栄一会員の夫婦を見ていると羨ましく思う。いい先輩がいると勉強になります。

尾身会員：佐々木彩さんに凄い人ばかりいるからとご紹介を受けました。会社が3億くらいなってきたときに、ようやく落ち着きまして、ロータリーに見学

に行きました。凄い人を見たくて、入会いたしました。その後会社をM&Aしたりと、会社が成長してきました。現在は9億少しまで伸びてきました。様々な先輩にアドバイスをいただき、しがみついてきました。様々として負けなくなかったです。色々な仲間がいるから耐えてきました。

櫻田会員：入会して1ヶ月です。ロータリークラブに誘われたのは、同友会の座席の前が栗山会員でした。食事会があるから水曜日おいでよと誘われました。また今秋ゴルフあるからと誘われて、入会前にゴルフまでお世話になりました。栗山会員がゴルフで73を出した時で、私もロータリーに入ったらゴルフがうまくなるのではと思い入会しました。まだ一か月ですが、とても刺激を得ています。また髭もしっかりと剃って頑張っております。一之江で防水工事事業をしております。部下を独立させておりますので、今後をみて誘っていきたいと思えます。四つのテストは、シンプルにいいことだなと思えます。これを守れるように頑張ります。

栗山会員：鈴木会員に誘われて入会いたしました。入会も致しましたが、退会も致しました。良かったことは皆様に出会ったこと。また皆様に影響を与えたということは誇りに思えます。入会させたい人は臨海西に全員入れました。3月にR3というのを立ち上げていきます。臨海、臨海東、臨海西のグループです。四つのテストはいつも気に留めています。

佐藤大輔幹事：初めて例会に出たときに、たすきをかけて歌を歌っているのはびっくりいたしました。入会してよかったことは、先輩や後輩、一人一人が私のお手本です。人と出会ってお付き合いさせていただいていることが良かったです。良かったか悪かったかは、自分の取り方次第です。この会に入らせていただいて、自分も変わっていききました。入会させたい人はいますので、声をかけていきたいです。

佐藤正樹副会長：入会10年となりました。高橋会員、栗山会員、本多会員はキラキラしていました。鈴木会員にも出会い、上には上がいるからと教えていただき入会いたしました。最近会社も順調で頑張っております。ロータリーに入ることがなければ会社もなかったと思えます。皆様とのご縁もなく、人としても、事業主としてもなかったと感じております。これから皆様に教えていただいたことを、ご恩を返していきたいと思っております。ロータリーは受け身で来ました。言われたことを真摯にやって行くことを大切にしていました。最近主体的に行かないと成長もないと思って頑張っています。

本多会長：今ロータリーも内容が変わってきました。入会した動機もありますが、臨海クラブで得たことがものすごくあります。鈴木会員の影響もありますが、私が入会したときの会長が佐久間栄一会員でした。立場としての根回しをしっかりと教育受けました。俺に何でも言ってくれよと言ってくれました。ところで、エレベーターのあるビルを持っている人。高速道路を走っていると、ビルばかりです。これほどの成功者が沢山いるのです。もっと上を目指して、

成長していくことは悪くない。私は成功したくて、成長したくて本気だったから、ロータリーに入りました。成功した人の真似をすることで、様々な成長を得ました。佐久間栄一会員からご紹介いただいた事務員のお陰でもあります。下を見るより、上を見て成長していく。この人と関わりたい。負けたくないと思う。必ずエレベーター付きのビルを購入いたします。臨海西もできますが、切磋琢磨して臨海3クラブで高めあっていきたいです。ハングリー精神も大切に、謙虚も大切に、姿勢も正して頑張っていきましょう。

**東京臨海 RC 旗争奪
江戸川区学童オレンジボール大会**

開会式：2018年11月11日（日）

水辺のスポーツガーデン内少年野球場

オレンジボール開会式が晴天の下行われました。3年生以下の元気な子どもたち、胸を弾ませて入場してきました。3年生とはいえ、立派です。野球を通じて礼儀を教わり、挨拶等もとても元気良かったです。決勝はどこが残るか？楽しみです。（佐藤輝彦）



閉会式：2018年11月23日（祝・金）

水辺のスポーツガーデン内少年野球場

本多会長：

開会式当時の選手のボールの投げ方から、盗塁の仕方など、決勝戦になると全然違いますね。プロ野球を見るより、今日が楽しかったです！皆様が高学年になって活躍されて、もっと私共が皆様に喜ばれることを一生懸命頑張ります。少年野球のチームが増えることをお手伝いさせていただきます。

参与：鈴木会員

みんなが一生懸命に諦めない姿を見えています。明日から野球頑張ってください。

